



保健・安全だより

令和5年9月11日
星ヶ丘二葉園

毎日暑い日が続き、子ども達の大好きなプールにもなかなか入ることができなかった今年の夏。自然災害のニュースも多く聞かれました。プールや海の映像を見てもラッシュガードでしっかりと紫外線防止をした親子の映像を多く見かけ、全身真っ黒に日焼けした子ども達の姿が遠い昔のように感じられます。これから毎年異常気象とお付き合いしなければいけないと思うと生活様式を見直さなければいけないのかもしれないかもしれませんね。

長期天気予報でも、9月に入り、少し秋らしくはなるものの、残暑が厳しいと予想されています。長引く暑さで夏の疲れが出てくる頃です。生活リズムを整え、休息を十分とり、来たる「食欲の秋」「運動の秋」「芸術の秋」を満喫できるようにしたいです。

【令和5年前期怪我等の状況】

- ① 3歳児女児 園外保育中に路上駐車している車を避けるため小走りしたところ転倒し、
(5月) 所持していた水筒に口をぶつけ前歯が少しかけて上の歯茎から出血する。
— ふるかわ歯科医院受診 レントゲンの結果異常なし—
- ② 5歳児男児 室内で走っていて、椅子に座ろうとした際転倒し、椅子の座面の角にぶつ
(6月) かる。眼鏡を装着していたので、眼鏡が上にずり上がり眉間が腫れた。
— 顔の怪我だったので、保護者に連絡後診察してくれるところを探したが見
つからず消防署に相談する。冷やして様子を見る。—
- ③ 2歳児女児 給食中職員がカレーの入った食缶にぶつかり倒してしまいそばにいた女児の
(7月) ふくらはぎにカレーがかかり、赤くなる。翌日には赤みもなくなる。
— 相模原記念病院受診 —

・以上の事例について職員全体で事故防止の検討をした結果下記のようにになりました。

- ① 歩くスピードの調整全体への声かけに気をつける
(『前に進むよ』など行動を意識できるようにする)
水筒のかけ方をチェックする。(前に来ていないか、紐の長さ、水筒の重さ等)
- ② 走って椅子に座ることが無いよう日頃から話をし、座っていない椅子が出したままになって
いると足が引っ掛かりやすく怪我につながることを丁寧に伝えていく。
- ③ 職員が配膳台においてある食缶にぶつかり倒してしまったので、食缶の置く位置を奥にする
事や、狭い通路を作らないよう、テーブルの配置場所等の見直をした。また、配膳時の温度確
認もするように話し合う。

【令和5年度 感染症状況】(4月～8月)

病名	人数	病名	人数
ヘルパンギーナ	12名	RSウイルス感染症	1名
手足口病	1名	胃腸炎	3名
コロナウイルス	1名	ヒトメタニューモウイルス	1名
流行性角結膜炎 ※1	12名	溶連菌感染症 ※1	3名
耳下腺炎 ※1	1名	※1 医療機関による登校・登園許可等証明書 が必要な疾病	